

第2代第13偵察戦闘大隊長兼ねて第37代出雲駐屯司令 2等陸佐 小松 大助 着任



小松 大助 (こまつ だいすけ)

出身地 北海道
生年月日 昭和49年5月3日生まれ

主要部隊歴

- 平成17年 第11偵察隊 (斥候班長) (北海道)
- 平成18年 第2戦車連隊 (戦車小隊長、第3科連絡幹部等) (北海道)
- 平成26年 冬季戦技教育隊 (戦闘戦技教育室先任教官) (北海道)
- 平成27年 富士学校機甲科部 (幹部特修課程) (静岡県)
- 平成28年 富士学校機甲科部 (教育課偵察教官) (静岡県)
- 平成28年 第71戦車連隊 (中隊長) (北海道)
- 平成30年 北部方面総監部 (人事部人事課人事幹部) (北海道)
- 令和3年 第73戦車連隊 (第3科長) (北海道)
- 令和5年 富士学校機甲科部 (企画室企画係長) (静岡県)
- 令和6年 現職 (島根県)

12月20日新たに第2代第13偵察戦闘大隊長兼ねて第37代出雲駐屯司令として、2等陸佐小松大助が着任しました。

小松2佐は訓示において、「統率方針「しんかの追求」、「しんか」とは、より優れたことに変化していく、あるいは、創造し歩み続ける進む進化。2点目、表面的なレベルを深く掘り下げこだわりを追求する深い深化。3点目、真の価値・能力、あるべき姿を追求する真価を意味する。皆と共にこの3つの「しんか」を実行し偵察戦闘大隊の戦力化とあるべき姿の創造を引き続き追求して行こう。」と述べました。



発行所 出雲駐屯地
広報室



出雲をご覧の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は出雲駐屯地に対し、多大なるご尽力を頂き厚く御礼申し上げます。私は、昨年一月二十日付で、富士学校機甲科部から第13偵察戦闘大隊長兼ねて出雲駐屯地司令に着任しました。着任以後、風光明媚そして、多くの歴史と伝統のある出雲の地で、地域の皆様との素晴らしい絆のもと、充実した勤務をさせて頂き心より感謝申し上げます。国際情勢は依然として予断を許す状況ではなく、また国内においても昨年、発生した石川県能登半島地震、奥能登豪雨災害、県内においても大田市で発生した鳥インフルエンザ及び日御碕の県道崩落等、災害は激甚化する傾向にあります。いづいかなる時も、地域の皆様方のために与えられた任務を完遂出来る駐屯地作りに専心努力して行きます。以前、猛威を振るった新型コロナウイルス感染も一定程度、抑制され各種行事、イベント等は、以前と同様盛大に実施できる環境となりました。出雲駐屯地特有の市中パレードにつきましても、昨年度同様に開催することができ、駐屯地そして地域の皆様方との絆を更に深めることができました。今年につきましても、昨年同様、駐屯地として出来る限りの各種行事、イベント支援出来るよう努力する所存です。今年はお出雲駐屯地創立第七二周年を迎えます。昨年同様、出雲市との共同主催により市中パレードを実施するとともに、駐屯地記念行事も盛大に実施できるよう準備を進めて行きます。今年には蛇年です。蛇は古来より再生や生まれ変わりを象徴するとともに、進化を意味します。蛇にあるように進化し続ける島根県唯一の陸上自衛隊として邁進する所存です。引き続き変わらぬご支援、ご理解の程よろしくお願い致します。結びにあたり、皆様と駐屯地一同の今後益々のご健勝とご多幸を記念し、新年と着任の挨拶とさせて頂きます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

新年の挨拶

第304施設隊長

2等陸佐 村岡 俊之



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、平素から出雲駐屯地

に対してご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和六年は、八月着任以来、隊員とともに各種演習・訓練等に励み、所望の目標を達成することができました。

令和七年は、「巳」年です。出雲の地に伝わる土地の災難除けの守護神「龍蛇神」もウミヘビであり、そのご加護の下、今年一年、災害等なく安寧であることを祈念するとともに、人と人とで紡がれる「縁」を大切に勤務する所存です。

結びに、令和七年が皆様にとって健やかで実り多き年になることを心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

出雲駐屯地業務隊長

2等陸佐 藤井 浩之



駐屯地の隊員及び家族の皆様、協力諸団体、地域の皆様、

お迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もおひとかたならぬご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年は、出雲駐屯地も人員規模が拡大し一年を通じて新隊舎等建設などお騒がせしてきたと思いますが、今後も駐屯地隊員の生活・勤務環境の改善・向上を図ってまいります。たいと思っておりますので変わらぬご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様にとって幸多からんことをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



第13後方支援隊 偵察戦闘直接支援隊長

3等陸佐 長田 健治



駐屯地協力団体の皆様方、隊員並びにご家族の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新編を迎え、共に各種訓練・支援、災害派遣等、無事に任務完遂できました。

隊が任務完遂できましたのは、隊員一人一人の弛まぬ努力、ご家族の皆様のお力添え並びに協力団体の皆様方のご理解・ご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

本年は、新編して二年目ということで、昨年積み上げたものが試されると共に、更なる成長が求められる重要な一年となりますので、引き続き、活気あふれる部隊の育成に邁進していく所存です。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き年になることをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

第104施設直接支援大隊
第1直接支援隊長

2等陸尉 森末 哲栄



新春のお喜びを申し上げます。本年は、巳年にあやかり「探求心と情熱」をもつて、益々の飛躍を祈願いたします。隊長着任から3年目となり、野整備部隊の一丁目一番地である整備支援は、これまで積み重ねてきた実績（伝統）を遺憾なく発揮し、さらには部隊の継承者となる陸曹・陸士の隊員が、「隊員主導」で行動できるような勤務環境を構築することが重要であると痛感しております。本年も整備支援の万全をモットーに、隊一丸となりやり遂げる覚悟です。これまでと同様のご支援・ご協力をよろしくお

願いたします

第356会計隊
出雲派遣隊長

1等陸尉 中村 亮



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年8月、出雲派遣隊長として着任し、この素晴らしい出雲の地・人と触れ合いながら約半年勤務させていただきました。まだまだ力不足な面がありますが、会計科の使命である「作戦目的達成のため各部隊を支援するにある」を胸に刻み、引き続き派遣隊員一同、縁の下の力持ちとして任務完了すべく邁進していく所存でありますので、引き続きご支援・ご協力よろしくお願いたします。

ましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

第312基地通信中隊
出雲派遣隊長

2等陸尉 國須 謙育



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年は、「巳年」です。「巳（蛇）」は、蛇の生命力から健康運UPと考えられています。本年は、「巳（蛇）」に相応しく、協力諸団体及び隊員並びにご家族の皆様方の健康、飛躍とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

出雲駐屯地の協力諸団体及び隊員並びにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

第132地区警務隊
出雲連絡班

2等陸尉 河原 哲弘



謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

出雲駐屯地は体制移行を経て、新たな人・装備を迎え、より精強により活気あふれる駐屯地となりました。

警務連絡班は引き続き、部隊の安全・安心につながる保安業務に尽力し、部隊の健全性の堅持に寄与できるよう邁進する所存です。

本年も変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。



宗像司令離任

12月19日、初代第13偵察戦闘大隊長兼ねて第36代出雲駐屯地司令2等陸佐宗像秀樹の離任式が行われました。

宗像2佐は、ここ出雲の地において、幾多の部隊訓練や訓練検閲、偵戦大新編業務、災害派遣など多岐にわたる任務、そして駐屯地司令という重責を約2年間全うされました。
新任地での活躍を出雲の地から心よりお祈り申し上げます。



紹介行事



駐屯地見送り

広報フォトギャラリー



出雲駐屯地創立71周年記念行事
市中パレード（10月）



出雲駐屯地創立71周年記念行事
オープンキャンプ（一般開放行事）（10月）



職場体験学習（9月）
WAPC体験試乗



鳥インフルエンザ災害派遣に伴う
島根県知事より感謝状拝受（11月）